
アホな奴ら

あくあ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アホな奴ら

【Nコード】

N1154B

【作者名】

あくあ

【あらすじ】

どこかにはこんな奴らがいるかも…馬鹿な3人がアホなことをした1日です…

（前書き）

もつこんなことする人いないですよねゝ
…

「いいか…作戦通りにやるんだぞ？」

こそこそと渡部は俺たちに確認をする

「……………いまだ！！いけ！！！！」

俺、羽田大樹は剛と一緒に飛び出した

「キヤア！！…な…なんですか？」

髪を二つに結っている可愛い彼女は

突然曲がり角から出てきた俺たちに力ナリ驚いた

「（なんだっけ…）」

「（ほら！！可愛い…）」

ああああ！！俺としたことが…セリフを忘れてしまった

「よおよお！！可愛いじゃあね〜か！！俺らとあそばねえか？？あ
ん？」

俺は不自然にかけたサングラスをずらし、ガン付けた目で彼女を眺
めた

彼女は後ろへ逃げようとした。そこを剛が先回りしてストップさせる

「おうおう！！逃げちゃだーめよ？」

俺は次のセリフを思い出していた

剛は渡部がつくりだした不良を完璧に演じている

「一緒にあそぼおってゝな?？」

カ・ン・ペ・キ

あとはヒーローの渡部が彼女を助け…ん?

トントントン…

俺の背中を誰かがたたく

剛はこつちを見て口元をひくひくさせていた

「あ?わた…べ…」

俺が振り返ると、そこにいたのは渡部ではなく、渡辺先生だった

「お前ら…演劇部だったか?何してる。」

彼女は渡辺先生の後ろにさつと逃げた

「あららら…渡辺せーんせ……今日も言い天気ですね!!」

俺たちは一直線に階段へ向かって走った

「お前らあとで職員室こいよ!!!!」

遠くで聞こえる声に俺たちは無視した

あとで飛び出した渡部は、こってり絞られたそうだ…

「だゝから学校でやんのはむりつつたべ?？」
帰り道剛は渡部に抗議する

「お前らも承諾してくれたじゃんよゝ失敗の上俺だけ怒られたし…」
立ち止まって俺は渡部に言った

「渡部が考えたんだから俺ら悪くねーもん。」
渡部は首を落としてため息ついた

「あゝあ…小百合ちゃんにもう声かけられない…終わった…」

「てかあの設定いつの時代だよ!!!」
剛は叫んだ。お前かなりなりきってたけど…

………そーだ………
ある考えが頭をよぎった

「俺いいことかんがえちった」
渡部と剛は俺の話に食いついてきた

「なにになに?」

「本物の不良にやってもらうとかは!!!??」

「………」

2人は時が止まったようにピクリとも動かない

「な…なんだよ…」

「無理にきまってるだろ！？バカ！！」

なんだかすんごく腹が立った

お前らの考えることもろくでもないことのくせに…

「うつせー！！一生独り身でいろ！！お前らなんかー！！」

2人をすり抜けて俺は駆けだした

てめえもだぁ〜と俺の後を追って2人が走ってきた

俺たちはこうして青春をムダにしていく…いや…一応青春してるのか？？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1154b/>

アホな奴ら

2010年10月11日00時45分発行